

ISSN 2434-9690

東アジア国際 言語研究

創刊号

東アジア国際言語学会
2020年1月

目次

ごあいさつ	鈴木康之 (i)
[特別寄稿]	
文の材料としての単語と連語	鈴木康之 (1)
名詞と使役動詞 (V-(サ)セル) からなる連語	早津恵美子 (5)
[対照研究]	
構造で作る派生空間詞	高橋弥守彦 (25)
日本語の「を格」、「から格」の空間名詞と自動詞との組合せに対応する台閩語の 連語との比較	施 淑恵 (36)
「ノニ」文と中国語“关联词”訳の対照研究	孫 宇雷 (51)
「習得」に関する動詞の語彙的意味の分析——日中の結果複合動詞を中心に——	蘇 丹 (61)
「のだ」文と焦点・強調的“是”字文との対照研究 — 対訳における 意味伝達と形式選択から—	曹 銀閣 (72)
「飛び+V」と“跳/飞+V”についての一考察	陳 雄洪 (82)
拡張意味単位からみた日中同形語の対照研究—「精神」を例として—	梁 鵬飛 (92)
[日本語研究]	
不可能形式による禁止表現	李 楠 (103)
コーパスに基づく類義語の意味分析の研究—「はがれる、むける」などを中心に—	李 響 (111)
日本語の存在文と所在文の置き換えに関する一考察	鄧 超群 (121)
新聞社説における譲歩表現に関する分析—その談話機能を中心に—	単 艾婷 (131)
日本語の「内の関係」連体修飾節のモダリティについての考察	張 静苑 (142)
類型論的にみる日本語の目的語名詞の定性	魯 美玲 (153)
『萬葉集』にみられるオノマトペ—AB型を中心に(その式)—	王 則堯 (164)
[中国語研究]	
中国語の仮定複文における前後節の関係標識について	新田小雨子 (174)
時量詞構文における焦点について	福本陽介 (184)
歴史的に見た離合詞—“请客”“生气”“见面”—	石井宏明 (195)
小説の地の文における“SV了O”文の成立条件	白石裕一 (205)
現代中国語の数量詞について	洪 安瀾 (218)
“把”構文における可能表現についての再考	小路口ゆみ (229)
位置移動の動詞“过”のスキーマについて	蘇 秋韵 (239)
二空間の質的対立から見た“过”の通過義について—「境界プロフィール」と 「場所プロフィール」に着目して—	佐々木俊雄 (250)
清末北京語動詞の実態—張廷彦『支那語動字用法』と『動字分類大全』に基づいて—	許 辰晨 (261)
2019年月例会発表記録	(272)
編集後記	(274)
執筆者一覧	(275)
英文目録	(276)

歴史的に見た離合詞—“请客”“生气”“见面”

Historical analysis of separable word—qingke shengqi jianmian

石井 宏明
Ishii Hiroaki

提要 汉语离合词中，动词性语素（Vg）+宾语（O）在涉及动作对象的时候，一种形式是与介词组合带出动作对象，另一种形式是把表示对象的名词（n）插入Vg与O之间，形成Vg+n+的+O形式，而这种形式，则可分为n与O之间有领属关系的夹对象离合词，和n与O之间没有领属关系的“扭曲性”夹对象离合词。为探索这两种离合词两种形式的历史变迁，本文以“请客”、“生气”、“见面”三词为中心，在CCL语料库中进行了检索、统计和分析。

キーワード：離合詞 介詞 {Vg+n+的+O} 対象 歴史

目次

1. はじめに
2. 検討する離合詞について
3. 本稿における《CCL》の検索条件
4. “请客”について
5. “生气”について
6. “见面”について
7. 介詞を使った用法、「挟対象離合詞」用法、動作の対象を後ろに置く用法
8. まとめ

1. はじめに

動詞性語素（Vg）¹⁾+賓語（O）の離合詞には、その動作の対象に言及する際、下の（1）の

¹⁾本稿は動詞性語素をVg、名詞をnとした。北京大学計算言語学研究所（1999）に拠った。

ように Vg と O の間に動作の対象を示す名詞 (n) を挿入し {Vg+n+的+O} の形をとるものがある。以降の例文の番号と下線は筆者がつけたものである。

(1) 我都不好意思见他的面了。(『離合詞 500』:85~86)

私は彼と顔を合わせるのが、とても恥ずかしいです。(同上)

石井宏明(2015:61~62)では、この種の離合詞を「挟対象離合詞」とし、その中(1)のように“面”と“他”との間に領属関係が認められる離合詞を「挟対象離合詞(一)」とした。

(2) 他正生你的气呢。(『離合詞 500』:128)

彼はちょうどあなたのことでおこっていますよ。(同上)

“气”は(《现汉》:1025)に“(动)生气;发怒”、“(动)使人生气”とあるが、“的”の後ろにあるので、(2)の“气”「怒り」は名詞であろう。しかし“你”は怒られている立場であるので、“你的气”を「あなたの怒り」とすることはできない²⁾。“生你的气”の“你”と“气”の間には領属関係が存在せず、“气”はむしろ、“他”に領属され、“他”、“你”、“气”の三者の関係は「ねじれ」ている。石井宏明(2013)では(2)のような離合詞を「ねじれ」の離合詞³⁾とし、石井宏明(2015:62~63)では「挟対象離合詞(二)」とした。石井宏明(2013)は、この「ねじれ」の離合詞は、「ねじれない」離合詞の「挟対象離合詞(一)」の枠組みをなぞっているとした。本稿は語の用法の変遷の歴史から、このことが読み取れるか否かを検討する。離合詞を歴史的に検討した先行研究として伊原大策(1998abc)がある。

2. 検討する離合詞について

離合詞の定義と分類については複数の見方が存在する⁴⁾。これらに関しては紙幅の関係上言及しない。しかし、本稿は多くの人々が離合詞と考える典型的な例を検討の対象とするため『離合詞 500』、《现代离合》、《常用离合》、《学习词典》、《离合槽》の五冊全てが収録し、そのうち「挟対象離合詞(二)」の特徴が際立っている“请客”と“生气”と「挟対象離合詞

²⁾ 相原茂(1997:169)が“生他的气”を例にとり、“他的气”を「彼に関する怒り、彼への怒り」と解釈するように、“你的气”を“关于你的气”(あなたに関する怒り)若しくは“对你的气”(あなたに対する怒り)とする考え方もあろう。しかし、例えば、“造谣”の“谣”が意味する“谣言”だが、この語には“他的谣言”を「彼に関する噂」又は「彼が言っている(流している)噂」と理解することができ、文によって“他的谣”(彼のデマ)を“关于他的谣”(彼に関するデマ)と理解することはできよう。だが、“生气”の“气”には、このような性質がなく、“你的气”は別の文で使うと「あなたの怒り」となり、「あなたに対しての怒り」となることはないであろう。故に“生你的气”を「あなたに対する怒り」とすることはできないであろう。詳しくは石井宏明(2013:2)をご参照下さい。

³⁾ {Vg+n+的+O}の“O”を赵元任(1980:170, 220~221)は“领属宾语”とし、朱德熙(1982:145~148)は“n”を“准定语”としている(朱德熙(1995:195)は「仮性連体修飾語」と訳している)。

⁴⁾ 南部まき(2000)、《离合槽》(3~10)、王海峰・姚敏(2010)、王海峰(2011:2~10)を参照。

(一)」の特徴が際立っている“见面”⁵⁾を検討対象に選んだ。

3. 本稿における《CCL》の検索条件

本稿が使用した《CCL》の検索条件には“古代汉语”と“现代汉语”がある。“生气”、“请客”、“见面”の過去の使用状況を見るため、“古代汉语”を選択し、“选择范围”を“清代”または“民国”とした。“清代”には文言文もあり、検討範囲を現代語と直接の繋がりがあある白話に絞るために“小说”のみを検索対象とした。“民国”の資料は全て“小说”であるため、その全てを検索対象とした。

《CCL》の“现代汉语”は“当代”と“现代”とに分かれ、1949年以前を“现代”とし、1949年以降を“当代”としているようである⁶⁾。ならば“民国”と“现代”は時代的に重なるが、本稿は《CCL》の区分に従い、それぞれを別個に検討した。“当代”には“中文学术文献语料库(CWAC)”等、“清代”、“民国”とは性質が異なる資料を含んでいる。検討する資料の性質を可能な限り統一するため、“当代”での検索対象を“文学\大陆作家”、“现代”については“文学”とした。

離合詞の二字間の漢字数は10字以下と設定し、ヒットした例文から「挟対象離合詞」の“n”が動作の対象であるものを抽出した。また、介詞用法の状況を見るため、介詞と離合詞の間の漢字数は10字以下として検索し⁷⁾、その間の“n”が動作の対象であるものを抽出した⁸⁾。

⁵⁾ 『離合詞 500』(196)、《常用离合》(112)、《离合槽》(195)、《学习词典》(102)は{Vg+n+的+O}の用法を認めるが、相原茂(1997:170)、李桂梅(2009:64)は{Vg+n+的+O}の用法はできないとしている。これに関して、伊原大策(1998a:1)は一方のみが正しくもう一方が誤りと言うものではなく、インフォーマントによって多少の差が生じるのは当然であろうとしている。この“见面”の問題に関しては、石井宏明(2015:66)では“见面”が“n”と“O”の間に領属関係が成立する「挟対象離合詞(一)」であると同時に、“结婚”、“离婚”、“聊天儿”「非挟対象離合詞(一)」のようなパートナーとの共同作業で元から動作の対象となる存在がないという両方の性質を持っていることに起因すると考えた。

⁶⁾ 《CCL》の“简介”にある詹卫东(2014)には、“表5 CCL 现代汉语语料库：当代(1949—) 语料规模”とあり、“表6 CCL 现代汉语语料库：现代(—1949) 语料规模”とある。

⁷⁾ “我要见我父亲一面。”《三侠剑(下)》《CCL》「私は私の父に一目会いたい」(筆者訳)のように、“見”と“面”の間に入る文字が“见面”の対象である“父亲”のみではなく、“我”や“一”といった別の要素を伴って使われる場合もあるため、間にある文字数を多めに見積もり10字以下とした。介詞と離合詞との間についても、介詞と離合詞の間に、その離合詞が対象とする語が別の要素を伴うことがあるため、介詞と離合詞の間も文字数を多めに見積もり10字以下で検索した。

⁸⁾ “我跟你生什么气？”《纪念》钱钟书《CCL》「私があなたに何を怒るって。」(筆者訳)のように、介詞を使う用法で離合詞の二字の間に対象以外の別の要素を挿入する例も検討すべきだが、《CCL》の検索作業の煩雑化を避けるため検討対象から外した。

検索する介詞は“与”、“和⁹⁾”、“跟”、“给”、“对”、“同”、“向”とした。なお、文献の年代については、特に時代の代わり目前後の文献については、特定が困難であろう。本来ならば検討すべき問題であるが、紙幅の都合、本稿ではCCLに拠った。

4. “请客”について

4.1 “请客”の「挟対象離合詞」の用法

(3) 有人请您的客，把饭帐给付了。《雍正剑侠图（下）》《CCL》

ある人があなたにご馳走して、食事代を払ってくれました。（筆者訳）

(4) 我心想请他一次客，又不便说出口。《一个多情水手与一个多情妇人》沈从文《CCL》

私は彼を一度ごちそうしたいと心で思いましたが、言いたし難かった。（筆者訳）

(5) 大嫂子，你可要请我的客啦！《苦菜花》冯德英《CCL》

姉さん、私にごちそうしないといけないでしょう！（筆者訳）

“清代”では「挟対象離合詞」の例は確認できないが“民国”では(3)が1例、“現代”では(4)を含め2例が確認できた。“当代”では(5)を含め19例が確認できた。「挟対象離合詞」の用法は文献上では“民国”から“当代”で確認でき¹⁰⁾、さらには『離合詞500』（119、211）、《現代离合》（571）、《常用离合》（165）、《学习词典》（158～159）、《离合槽》（189）の五冊全てが「挟対象離合詞」の用法を紹介しており、現在では一般的な用法と言えよう。

4.2 “请客”の介詞を使った用法

“清代”、“民国”、“現代”、“当代”で“请客”の介詞を使った用法は確認できない¹¹⁾。そこで検索条件を広げて検索すると“给”が使われる例が2つ見つかった。

(6) 并将截留的4.2万元用于给其他干部请客送礼。（人民日报2000年）《CCL》¹²⁾

同時に横領した4.2万円を他の幹部にご馳走し、贈り物に使用した。（筆者訳）

(7) 林先生，哪一天来给我请客吃羊肉呀！《林清玄散文》《CCL》¹³⁾

林さん、いつ私に羊肉をご馳走してくださるの。（筆者訳）

(6)には“给”の後に“其他干部”という“请客”の動作の対象がある。(7)でも“给”の

⁹⁾ “合”を含める。

¹⁰⁾ 文献上確認できるであり、実際には“民国”以前にすでに“请客”の「挟対象離合詞」の用法が口頭で話す言葉では存在したが、文献では民国時代になってから見られるようになったとも考えられよう。

¹¹⁾ “清代”に次のような例があった。“这一块钱是给你的车钱，快些去给我请客。”《九尾龟（四）》《CCL》「この金はお前にやる車賃だ、急いで私のためにお客さんを呼んできてくれ。」（筆者訳）この場合の“给”は「～のために」という意味で使われている。

¹²⁾ 新华社杭州5月30日电。

¹³⁾ 《CCL》の“文件名”は“/当代/文学/台湾作家/林清玄散文”である。

後に“我”という“请客”の動作の対象がある。しかし“*给其他干部请客。”や“*给我请客。”では非文となろう。(8)(9)は“给其他干部送礼。”や“给我吃羊肉呀。”に取り込まれて成立すると考えられ、これらは一般的な例ではなかろう。現在においても“请客”が介詞を使う用法は一般的ではないと考えられよう。それでいながらも、これらの例は“请客”にも介詞を使う用法が成立し得る可能性があることを示唆するものではないか。しかし、現実には“请客”には、介詞を使った用法がなく、動作の対象を示す用法は「挟対象離合詞」のみであり、“清代”にはそれすらなかったことになる。

5. “生气”について

5.1 “生气”の「挟対象離合詞」用法

(8) 不要在家里再生我的气。《济公全传(二)》《CCL》

家でこれ以上私を怒り続けな~~い~~で。(筆者訳)

(9) 詹大人，你在生谁的气呀。《大清三杰(下)》《CCL》

詹大人、あなたは誰に腹を立てているのですか。(筆者訳)

(10) 季泽笑道：“她干吗生你的气？”《金锁记》张爱玲《CCL》

季澤は笑いながら「彼女はなぜ、あなたに腹を立てているの」と言った。(筆者訳) (11)

“你说什么她也不会生你气……”《一个女人的史诗》严歌苓《CCL》

「あなたが何を言っても、彼女はあなたに腹を立てないでしょう…」(筆者訳)

“清代”では「挟対象離合詞」の用法は(8)の1例しか確認できず、この用法は清代では一般的ではなかったと言えよう¹⁴⁾。“民国”では(9)を含め3例、“現代”では(10)を含め16例が確認できた。“当代”では(11)の例を含め155例が確認できた。

5.2 “生气”の介詞を使った用法

(12) 我也没有功夫与你生气。《彭公案(二)》《CCL》

私もお前に腹を立てる暇がない。(筆者訳)

(13) 方才是我不好了。绝不该和他生气。《七侠五义(下)》《CCL》

さっきは私が悪かった。絶対彼を怒るべきではなかった。(筆者訳)

(14) 黄三太说道：“侯爷你别跟他生气。《三侠剑(上)》《CCL》

黄三太は「侯様、彼に腹を立てないでください。」と言った。(筆者訳)

(15) 赵文会说：“师父同谁生气？”《济公全传(一)》《CCL》

趙文会は「お師匠様、誰に腹を立てているのですか。」と言った。(筆者訳)

¹⁴⁾ 紙幅の関係で例文(8)の前後の文を引用できないが、文脈から読み取ると例文(8)は、「家で二度と私を怒らせな~~い~~で」(筆者訳)とも理解でき、そうなる例文(8)は「挟対象離合詞」の例ではなくなり、“清代”での「挟対象離合詞」は0例となる。

“清代”では“与”は(12)含めて12例、“和”は(13)を含めて6例、“跟”は(14)を含めて4例、“同”は(15)を含めて3例、介詞用法は合計25例が確認できた。

- (16) 与他的妻子因事生气，他想吓他的妻子。《上古秘史》《CCL》

彼の妻に何らかのことに腹が立ち、彼は自分の妻を怖がらそうとした。(筆者訳)

- (17) 你真和我生气吗？你想骂，骂我几句。《留东外史续集》《CCL》

あなたは本当に私のことを怒っているの。罵りたければ、罵ればいい。(筆者訳)

- (18) “怪我跟你生气？”《留东外史续集》《CCL》

私があなたに腹を立てていることを悪く思っているの。(筆者訳)

- (19) 老哥你看看，我不对他们生气。《留东外史续集》《CCL》

兄さん、見て、私は彼らのことを怒っていないよ。(筆者訳)

- (20) 并不是他敢向张全生气。《留东外史》《CCL》

決して彼に張全に怒る勇気があるわけではない。(筆者訳)

“民国”では“与”は(16)の1例のみ、“和”は(17)を含めて3例、“跟”は(18)を含めて2例、“对”は(19)を含め3例、“向”は(20)を含め2例、合計11例が確認できた。

- (21) 你爹又和谁生气？《三里湾》赵树理《CCL》

あなたのお父さんはまた誰に腹を立てているの」(筆者訳)

- (22) 是不是为了我批评那首诗，你表姐跟我生气？《围城》钱钟书《CCL》

あの詩を批評したから、あなたのいとこのお姉さんは私を怒っているの。(筆者訳)

- (23) 你只是对你自己生气。《自剖》徐志摩《CCL》

あなたは自分自身に腹立てるだけだ。(筆者訳)

“現代”では“和”は(21)を含め6例、“跟”は(22)を含め12例、“对”は(23)を含め4例、合計22例が確認できた。最後に“当代”を見てみる。

- (24) 老婆又找茬与他生气。《故乡天下黄花》刘震云《CCL》

妻はまたあら捜しをして、彼に腹を立てた。(筆者訳)

- (25) 觉得自己和这样一个孩子生气，也不值得。《静静的产院》《CCL》

こんな子供に怒ったって、意味がないと思った。(筆者訳)

- (26) 我劝他不要生气，他跟我生气。《突出重围》柳建伟《CCL》

私は彼に怒らないように言ったが、彼は私を怒りだした。(筆者訳)

- (27) “不瞒你说，我前一阵儿对你很生气。《我是你爸爸》王朔《CCL》

正直に言うと、一時期、私は君に腹を立てていた。(筆者訳)

- (28) 白力也正在同鱼生气。《小鲁宾逊的一天》曾卓《CCL》

白力も魚を怒っている。(筆者訳)

“当代”では“与”は(24)を含め2例、“和”は(25)を含め6例¹⁵⁾、“跟”は(26)を含め24例、“对”も(27)を含め25例、“同”は(28)の1例のみ、合計58例が確認できた。

5.3 “生气”の「挟対象離合詞」用法と介詞用法

上で見たように、“清代”における“生气”の「挟対象離合詞」の用法は、1例のみ¹⁶⁾、“民国”では3例、“现代”では16例、“当代”では155例が確認できた。だが、それぞれ“当代”、“现代”、“民国”、“清代”が収録する文献の量に違いがあるため、単純に数量を比較しても意味をなさない¹⁷⁾。そこで、“生气”の「挟対象離合詞」用法の例文数と介詞を使った用法の例文数を合計したものを100とし、それぞれのパーセンテージを算出し、「誰を怒る」という場面で「挟対象離合詞」用法と、介詞を用法のどちらが、より多く使われているかを見てみる。その結果が下の表1である。

表1

	「挟対象離合詞」	介詞	合計
“清代”	1例(4% ¹⁸⁾)	25例(96%)	26例
“民国”	3例(21%)	11例(79%)	14例
“现代”	16例(42%)	22例(58%)	38例
“民国”+“现代”	19例(37%)	33例(63%)	52例
“当代”	155例(73%)	58例(27%)	213例

“清代”では4%であった「挟対象離合詞」の用法が使われる割合が増加し最終的には、“当代”では介詞を使った用法の割合を上回り、逆転した様子が見て取れよう。

“请客”には介詞を使った用法がないため、表1のような比較ができないが、上で見たように、“请客”の「挟対象離合詞」用法は“民国”から“当代”で確認でき、現在では一般的な用法となっていることから、“请客”と“生气”の「挟対象離合詞」用法の使用頻度の増加の傾向は、大体においては軌を一にしていると言えよう。次で「ねじれの無い」離合詞「挟対象離合詞(二)」「见面」について見てみる。

6. “见面”について

紙幅の都合、“见面”に関しては“清代”についてのみ見ることにする。

(29) 刘虎与他见面, …《彭公案(一)》《CCL》

¹⁵⁾ “宮本和渡边正在生气。”《战斗的青春》雪克《CCL》「宮本と渡边は腹を立てていた。」のように“A和B生气。”「AとB二人が(別の対象)に怒っている。」(筆者訳)といった例は除外してある。

¹⁶⁾ あるいは0例。脚注14)参照。

¹⁷⁾ 詹卫东(2014)の表3、表4によると、“清代”は48,109,077バイト、“民国”は35,371,339バイト、“现代”は15,250,163バイト、“当代”は1,154,949,310バイトとある。

¹⁸⁾ 小数点以下は四捨五入した。以降も同様である。

劉虎は彼と出会い、… (筆者訳)

(30) 弟子和仙师初次见面。《八仙刘得道(上)》《CCL》

私は仙人様と初めてお会いしました。(筆者訳)

(31) 紀有徳跟众人见面。《彭公案(四)》《CCL》

紀有徳は多くの人と会った。(筆者訳)

(32) 劳航芥初同金道台一千人见面…，《文明小史》《CCL》

劳航芥は初めて金道台とその仲間たちに会って…(筆者訳)

(33) 合周翰林拱手为礼，又向伯集见面。《文明小史》《CCL》

周翰林と拱手で挨拶し、また伯集に会った。(筆者訳)

“与”は(29)を含め53例、“和”は(30)を含め25例、“跟”は(31)1例、“同”は(32)を含め9例、“向”は(33)1例のみ確認できた。介詞を使った用法は合計89例となる。

(34) 他到山中见了我一面。《隋唐演义(下)》《CCL》

彼は山中で私に会った。(筆者訳)

「挟対象離合詞」用法は(34)のような例が265例確認できた。表1の方法で計算すると介詞を使った用法は25%、「挟対象離合詞」用法は75%となる。“见面”は“请客”と“生气”より早い段階の“清代”で「挟対象離合詞」用法を一般化させていたと言えよう。

7. 介詞を使った用法、「挟対象離合詞」用法、動作の対象を後ろに置く用法

ここで改めて離合詞の対象を示す方法を見るため、別の離合詞も見てみることにする。例えば“操心”には下の(35)や(36)のように、介詞を使った用法や「挟対象離合詞」用法がある

(35) 才能让儿女不为我们操心。《给老爸老妈的100个长寿秘诀》《CCL》

ようやく子供たちに私たちの心配をさせなくすることができる。(筆者訳)

(36) 李连成又开始操老人的心。《2000年人民日报》《CCL》

李連成また老人の心配を始めた。(筆者訳)

さらにはどこまで一般的な表現かはともかく、下の(37)のように“操心”の後ろに動作の対象を置くことができる¹⁹⁾。

(37) 不要操心她。《1995年人民日报》《CCL》

彼女を心配するな。(筆者訳)

¹⁹⁾ “操心”の後ろにその対象を目的語として置く例として、(《現代离合》:70)には“用不着你来操心这事!”「あなたがこの事を心配する必要はない。」(筆者訳)という例が挙げられている。伊原大策(1998c)は“帮忙+O”について歴史的に論じている。

“请客”や“生气”にも、この方法を選択する可能性、下の(38)(39)のような例もあり得たのではないか。

(38) *他生气你了, 你还不知道。(《现代离合》: 635)

彼はあなたを怒ってしまったよ。あなたはまだ気付かないの。(筆者訳)

(39) *这次我请客你吧。(《现代离合》: 571)

今回は、私があなたにごちそうするよ。(筆者訳)

無論(38)と(39)は《现代离合》(63, 571)が誤用例としてあげているように非文である。

しかし、“生气”には介詞を使った用法があるが、さらに別の方法をも選択するならば、“生气”の後ろに目的語を伴う用法を選択することもできたはずである。また、対象を示す用法が元々はなかった“请客”には、その対象を示す方法として、(35)～(37)の“操心”のように、「挟対象離合詞」の用法、介詞を使った用法、“请客”には(6)、(7)のように、介詞を使った用法が存在し得る可能性を示唆すると考えられる例もあった。そして、動作の対象を自らの後ろに置く用法の三つの選択肢があったはずである。

しかし、現実には「ねじれ」の離合詞になるにも関わらず“请客”や“生气”に中国語母語話者は「挟対象離合詞」用法を選択した。その理由は、见面”と“请客”、“生气”の両者の間に「挟対象離合詞」の一般化に時間差があることから、“见面”や恐らくは石井宏明(2015:61～62)で述べた{Vg+n+的+O}の“n”と“O”の間に領属関係が成立する「挟対象離合詞(一)」の離合詞が“请客”や“生气”に先駆けて、「挟対象離合詞」の用法を一般化させていたことにあると考えられよう。また、この現象はつまりは、「挟対象離合詞」用法が中国語母語話者に強く支持されている事を示すものであるとも言えよう。

8. まとめ

“n”と“O”の間に領属関係が成立する“见面”は“清代”において既に「挟対象離合詞」の用法が介詞を使った用法より使用頻度が上回っていることから、“清代”において“请客”や“生气”に「挟対象離合詞」の用法がほとんど、或いは全くなかった原因は、やはり「挟対象離合詞」{Vg+n+的+O}の“n”と“O”の間に偏正関係や両属関係が成立しないことにある。

“见面”と“请客”、“生气”の間の「挟対象離合詞」の用法が一般化した時間差から、“清代”においては、“请客”や“生气”等の「ねじれ」の離合詞に「挟対象離合詞」の用法を使用することを「躊躇」していた中国語母語話者たちは、{Vg+n+的+O}の“n”と“O”の間領属関係が成立する“见面”などの「挟対象離合詞(一)」{Vg+n+的+O}の用法の枠組みをなぞるように、“请客”や“生气”にも「挟対象離合詞」の用法を使用し始めたと考えられよう。その結果として、「ねじれ」の離合詞「挟対象離合詞(二)」が生まれたのであろう。

言語資料と略称

中山時子監修 鹿琮世 李清華 大瀧幸子編著 (1990) 『中国語離合詞 500』東方書店 東京 『離合詞 500』。

北京大学中国语言学研究中心 CCL 语料库检索系统 (网络版) 《CCL》

李春玲 (2009) 《现代汉语离合词及其离合槽研究》辽宁人民出版社 沈阳 《离合槽》。

王海峰 薛晶晶 王景璞 (2013) 《现代汉语离合词学习词典》北京大学出版社 北京 《学习词典》。

杨庆蕙主编 (1995) 《现代汉语离合词用法词典》北京师范大学出版社 北京 《现代离合》。

中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 (2012) 《现代汉语词典》第 6 版商务印书馆北京 《现汉》。

周上之主编 (2011) 《汉语常用离合词用法词典》北京语言大学出版社 北京 《常用离合》。

参考文献

相原茂 (1997) 『謎解き中国語文法』講談社現代新書 東京。

石井宏明 (2013) 「「ねじれ」から見た離合詞」日本語文法研究会研究会報告第 34 号『連語論研究<II>』1-11。

—— (2015) 「対象を挟む離合詞と挟まない離合詞」日本語文法研究会研究会報告第 38 号『連語論研究<IV>』58-68。

伊原大策 (1998) a 「動賓構造動詞に見られる離合詞化と非離合詞化の流れ—台湾中国語を例に—」『1997 年度 財団法人交流協会日台交流センター歴史研究者交流事業報告書』1-10。

—— (1998) b 「“洗澡”考—離合詞“洗澡”の語史」『中国語学』245 1-10。

—— (1998) c 「“帮忙你”は誤りか—語史的観点から見た離合詞“帮忙”とその周辺」『言語文化論集』(48) 87-100。

朱德熙 (1995) 杉村博文・木村英樹訳『文法講義』白帝社 東京。

南部まき (2000) 「中国語離合詞研究概観 (上) —中国における離合詞研究—」『千里山文学論集』第 64 号 129-146。

北京大学计算语言学研究所 (1999) 〈现代汉语语料库加工规范——词语切分与词性标注〉1993 年 3 月版 1-19。

李桂梅 (2009) 〈领格宾语构式“VN的O”探析〉《汉语学习》第 3 期 63-69。

王海峰 (2011) 《现代汉语离合词离析形式功能研究》北京大学出版社 北京。

王海峰 姚敏 (2010) 〈半个多世纪以来的现代汉语离合词的研究〉《语文研究》第 3 期 19-27。

詹卫东 (2014) 〈CCL 语料库语料分类分布情况汇总〉

http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/CCL_Corpus_statistics.pdf。2019 年 5 月 22 日参照。

赵元任 (1980) 《中国话的文法》A GRAMMER OF SPOKEN CHINESE 中文大学出版社 香港。

朱德熙 (1982) 《语法讲义》商务印书馆 北京。